

開館カレンダー

【おはなし会の開催について】

☆ 8月以降のおはなし会の開催は未定です。

再開の予定については、当館ホームページ、ツイッターなどでお知らせします。
ご不便をおかけしますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

【避難訓練コンサートについて】

☆ 9/5（土）エイブルホールにて避難訓練コンサートが実施されます。図書館は通常通り開館します。サイレン、避難誘導の放送が入ることが予想されますが、図書館の利用者の方の避難の必要はありません。詳しくは、来月号でお知らせします。

…休館日

8 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

鹿島市民図書館



一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
〒849-1312 鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル

<http://www.library.city.kashima.saga.jp>
TEL : (0954) 63 - 4343 FAX : (0954) 63 - 2217
2020年7月25日発行

子ども図書館サポーター活動報告 2

6/28（日）、2回目の子ども図書館サポーターの活動を行いました。内容はアサガオとヒマワリの周りの草取りとおすすめ本選び。おすすめ本は、7/11より開催した「おたのしみ袋」の中身として貸し出しました。



AM10:00 集合。

この日は、図書館長と初対面。図書館長からのご挨拶からスタートです。



まずは、アサガオとヒマワリのお世話をしました。かわいい芽の周辺の草取りをしてくれました。天気がよく、暑くなったので短時間の作業でした。



続いて、「おたのしみ袋」の中に入れるおすすめ本選びです。選んだ本へのひと言メッセージも書きました。どんな人が選んでくれるのか、どんな人に読んでほしいのかなど、サポーターの子ども達は、読んでくれる人のことを真剣に考えて選んでいました。利用者の方を考えて選書する…すでに立派な司書さんです。私たちも見習わなければ！



司書のひとりごと…

新型コロナの影響で、各局でさまざまなドラマが再放送されています。みなさんはご覧になりましたか？当時よく観ていたものは懐かしさと同時にその頃のことが思い出されたり、観ていなかったものが意外と面白かったり…そこには予想外の発見と楽しみが！

そこで、図書館でもこの夏、書庫に眠っているCDを登場させてみようかと考え中です。懐かしい音楽とともにあの頃の思い出に浸るもよし、新たな音楽に出会うもよし！

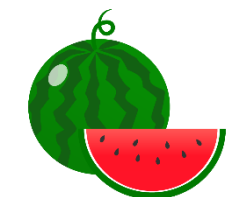
まだまだ感染に気をつけながら過ごす日々が続きますが、ささやかな楽しみをみつけて乗り越えていきましょう！
そして、図書館がその一助となればうれしいです◎（Y）



鹿島市民図書館だより みんと

- 理科教室 @おうちでクラフト
- 館長コラム
- 願いよとどけ！ たなばたかざり
- インターンシップに来てくれました
- おうちですごりできたかな！？
- 学芸部展示紹介
- 特集展示コーナー紹介

2020年 8月 225号



理科教室 @おうちでクラフト

今年の理科教室はおうちで挑戦！（3密対策）
本を借りた人に、おうちで作れるクラフト3種類が入ったキットを配布します。

配布期間：8月1日（土）～23日（日）

対象：小学生

100セット限定

※無くなり次第終了



キットの内容

工作① くだものコマ



工作② ジャンプ人形



工作③ 浮かぶ玉



…館長コラム「正常性バイアス」…

私たちは、過去に様々な天災を経験し、予防措置や初動対応の重要性を知っています。その一方で、生来人間に備わっている心理的な作用が、周囲の状態を正しく認識することを妨げている場合があります、これを「正常性バイアス」というと聞いたことがあります。

通常は起こらないような事態、非常事態に遭遇すると、「まだ大丈夫だろう」、「大したことはないだろう」という先入観や偏見（バイアス）が作用し、災害から逃げ遅れることがあるそうです。この「正常性バイアス」は、色々な出来事に過度に反応するストレスを回避するため、「正常な範囲」と自動的に認識して精神的な安定を保つための作用として備わっているものと考えられています。

私自身も、次のような経験をしました。ある「道の駅」で昼食をとっていると、突然に火災ベルが鳴りました。周りを見回しても煙の広がりはなく、火災の兆候も感じられませんでした。何組かの来店客はテーブルに座ったままだし、店員も何が起こったのか不安な顔をしてはいるものの、避難誘導の声はありませんでした。

幸い誤報だったのですが、この時にとるべき行動は「誤報と判明するまでは、決められた場所に避難すること」でした。皆さんのところでも、「訓練」時には定められた手順に従って行動されていると思います。「道の駅」での出来事も、「誰かの主導による危険を認識させるための行為」があれば、これがきっかけとなって「正常性バイアス」の中にいる人たちも避難行動をとったものと考えられます。

大きな風水害が発生している今日にあっては、このきっかけの一つが市からの警報発令や防災無線、近隣の人からの呼びかけだと思います。

市民の一人として、まずは、防災マップの再確認から始め、きっかけに注意を払い、今後に備えたいと考えます。



鹿島市民図書館長 市坪 秀明

新着図書案内

予約サービスをご利用ください！
来館・電話・ウェブにて予約することができます。

『なりたいうようになりなさい』

小林 照子／著 日本実業出版社



これまでの生活から大きな転換を求められている「いま」だからこそ、自分らしく生きる。85歳の今も現役の美容研究家として輝く著者が、「なりたいうようになる」ためのコツを伝授します。

『家が呼ぶ』

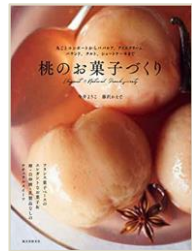
朝宮 運河／編 筑摩書房



ホラーファンにとって永遠のテーマの一つといえる「こわい家」。屋敷やマンション等をモチーフとした逃亡不可能な恐怖が襲う珠玉のアンソロジー！

『桃のお菓子づくり』

今井ようこ／著 藤沢かえで／著 誠文堂新光社



見ただけで桃の香りが香ってくるような素敵なお菓子のレシピ集。淡いピンクがかわいい冷たいお菓子からこんがり香ばしい焼き菓子まで幅広く掲載されています。桃のお菓子にチャレンジしてみませんか！

『これならできるオリーブ栽培』

山田 典章／著 農山漁村文化協会



日本で初めてオリーブ栽培で有機JAS規格を取得した著者は佐賀県出身。著者の経験を基に栽培のコツ、病虫害対策、経営として成り立たせるためのノウハウを丁寧に解説します。

『自宅でキャンプ』

樫出版社



自宅でキャンプをしてみませんか？キャンプ気分を盛り上げるウエアやキャンプ飯のレシピも掲載。ひとりで！カップルで！家族で！あなたにあったキャンプスタイルを見つけよう！

みんとの「みん」は みんなの「みん」

願いよとどけ！ たなばたかざり



6/25(木)～7/29(水)
今年も館内に大きな笹かざりが登場しました！子どもから大人までたくさんの人たちが、願いごとを書いて飾っていかれました。

新型コロナウイルスや大雨の影響で我慢の多い上半期となった今年。苦しいことの後

には、きっと明るい未来が待っているはず。ひとつでも多くの願いごとが叶いますように！



おうちですごろくできたかな！？

おはなし会などの企画がやむを得ず中止となり、スタッフも残念な気持ちでいっぱいです。

そこで、おうち時間を楽しんでもらおうとすごろくを作りました！本を借りてくれた未就園児～低学年の子どもたちにプレゼント♪「ありがとう！」と言ってもらってくれる子どもたちの笑顔に、たくさんの元気をもらいました。

まだまだ、以前のようにイベントを行うことは難しい状況ですが、少しでも「来てよかった」と思ってもらえるようにがんばります。



特集展示コーナー ～ 児童編 ～

今月は児童向けの特集展示コーナーを紹介します。季節の行事やイベントに合わせて本を集めています。



【児童コーナー正面】
お正月からクリスマスまで1年間の季節の行事に合わせた絵本を中心に展示します。



【窓側】
窓側の展示は2カ所あります。赤ちゃん向けの絵本の展示と四季の本や読書感想文・感想画の課題図書の展示を行います。



【プーさん】
返却カウンター前のプーさんのぬいぐるみが目印のコーナー。



【児童特集】
季節のテーマにあわせていろいろなジャンルの本を集めています。大人も新発見があるかも！？場所は児童用検索機の裏側です。

インターンシップに来てくれました！



6/23(火)～26(金) うれしの特別支援学校よりインターンシップに来てくれました。初日は緊張した表情でしたが、企画準備や団体貸出の準備などいろいろな仕事を体験しました。緊張しつつもいい表情で、カウンターの仕事も頑張ってくれました。



学芸部の展示紹介

藤津伝染病研究所

～ 感染症と闘った近代鹿島の医師とその文事～



郷土資料コーナーに展示しています。

新型コロナウイルスの大流行により、私たちの生活は大きく変わりました。これまでも多くの医師や研究者が、様々な感染症と闘ってきました。鹿島の地でもそれは同じです。明治時代には、コレラ、赤痢、ジフテリアなどの感染症の大流行が起こり、鹿島の医師たちが立ち向かっています。

今回の展示では、感染症から鹿島を守るために奮闘した医師たちの活動とその文人としての側面を紹介します。

夏休みの宿題の参考になるような本をブックトラックに集めて展示します！



コーナーに展示している本は図書館のホームページでもチェックできます！「資料をさがす」→「おすすめの本」をチェック！！